

# Osaka Metro まちさんぽ

都島駅

60分  
コース

谷町線 都島駅

ねえ 鶴が眠るまち・都島

鬼退治の勇将・渡辺綱伝説から鶴塚まで

大江山の酒吞童子退治や京都・羅城門に出没した鬼の腕を斬り落とした勇将・渡辺綱が愛馬をつないだ「駒つなぎの樟」に、天皇を苦しめていた鶴の遺骸が流れ着いたという伝承を持つ「鶴塚」などをめぐります。

摩訶不思議な都島妖怪譚の世界へ！



淀川は明治時代末の改修工事まで、毛馬で北流する中津川と南流して大阪市中に向かう大川に分かれていました。大川流域には応神天皇の大隅宮や孝徳天皇の難波長柄豊碕宮があったとされ、これらの宮廷に向き合う島という意味の「宮向島」が都島になったといわれています。古代から近代に至るまで住民は大川の氾濫とたたかいながら暮らしていました。

新型コロナウイルス 感染拡大防止のために ●体調が優れない場合のご参加はお控えください。 ●マスク着用の上、他の方と2m程度距離を空けてご参加ください。 ●混んでいる時間帯を避け、会話を控えめにしてお参加ください。



鬼退治の勇将・渡辺綱伝説から鶴塚まで  
 大江山の酒吞童子退治や京都・羅城門に出没した鬼の腕を斬り落とした  
 勇将・渡辺綱が愛馬をつないだ「駒つなぎの樟」に、天皇を苦しめていた鶴  
 の遺骸が流れ着いたという伝承を持つ「鶴塚」などをめぐります。  
 摩訶不思議な都島妖怪譚の世界へ！

スタート駅

約 60 分

ゴール駅

## 谷町線都島駅③号出口

## 谷町線都島駅

## 1 都島神社

この地へ行幸した後白河法皇が、何度も洪水に遭う住民の苦しみを知って、鎮守の神社を設けるように命じ、近在の毛馬村や湊上江村(湊上江村)、友洲村などの村人が共同して永暦元年(1160)に十五社神社を建立しました。天照大神、住吉大神、春日大神、石清水八幡大神など15もの大神を祀ったのです。洪水から村々を守護してほしいという村人の願いが伝わります。昭和になって都島神社と改名されました。境内の石造三重宝篋印塔は鎌倉時代後期の嘉元2年(1304)の銘があり、大阪市内最古の石造文化財です。



## 2 渡辺綱・駒つなぎの樟 3 善源寺跡碑



このあたりはかつて善源寺荘と呼ばれ、大江山の鬼退治で有名な摂津源氏の首領・源頼光が支配していた荘園でした。このクスノキは、頼光が一族の武神・八幡大神を祀って荘園の鎮守社を創建するときに植えたとき、頼光四天王のひとり、渡辺綱が八幡社に詣でるときに馬をつないだといわれています。樹齢900年と推定されるクスノキは、昭和の初めに大阪府の天然記念物1号に指定されましたが、戦災に遭い現在は枯れ死状態です。善源寺跡の碑が隣接する公園にあります。また、クスノキの東隣に楠街道開墾という碑がありますが、前の道を街道と称したものと思われる。



## 4 大川

毛馬から中之島に向かう淀川の流れを大川と呼び、昔から大阪市民の貴重な飲料水でした。江戸時代には「水屋」が大きな桶に川水を汲んで売り歩いていました。少し下流に大阪市水道発祥の地もあります。大雨でしばしば氾濫して洪水を発生させました。



## 5 飛翔橋

大川を橋脚なしで跨いでいる二重アーチ構造の橋梁で、「UFUOが飛び立つようなイメージ」があるとして飛翔橋と名付けられました。昭和59年(1984)に完成しました。



## 6 母恩寺

後白河法皇がこの地で洪水に苦しむ農民のために十五社神社を建立させ、さらに、風光明媚な大川の景色を好んで、生母・待賢門院の供養のために母恩寺を建てました。浄土宗の尼寺として代々皇女が住職を務め、多くの伽藍を有する大寺院でしたが、たび重なる洪水と兵火で衰微しました。現在の本堂は平成4年(1992)に新築されたものです。



## 7 農業用水門

このあたりは湊上江村(湊上江村)と呼ばれた豊かな農村で、井路川が淀川から寝屋川方面に幾筋も流れていました。水門は開閉して水量を調整する設備で、井路川の流れを制御していました。この水門は近くの旧家に残されていたものを昭和49年(1974)に交差点の緑地帯に整備復元したものです。



## 8 鶴塚

『平家物語』によれば、平安時代末期に京都の御所に夜ごと鶴という怪物が現れ、近衛天皇が病に伏せるといふ出来事がありました。侍臣の弓の名人・源頼政が射落としたところ、頭はサル、胴体はタヌキ、四肢はトラ、尾はヘビの姿でヒューヒューと鳴く妖怪でした。鶴の遺骸は淀川に流されてこの地にたどりつき、崇りを恐れた村人たちは母恩寺の住職に吊ってもらって、鶴塚を建てました。明治時代に取り壊そうとしましたが、鶴の怨霊が人々を悩ませて、慌てて鶴塚を修復したという伝承もあります。現在、大阪の水辺と縁が深く人智を越える存在として、大阪港の紋章に取り入れられています。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2021年5月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<http://www.osaka-asobo.jp> または  で検索

## ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。

※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

## ご案内

※駅スタンプは駅長室内に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

## 駅スタンプ押印欄

